

# 2-1

個別ケアへの取り組み

より良いケアへのはじまりの一步

個別ケア

ポジショニング

社会福祉法人 浴風会 南陽園

ケアワーカー・松本さや佳 毛利義征

東京都杉並区高井戸西 1-12-1

TEL : 03-3334-2159

E-mail : [nanyo@jcom.home.ne.jp](mailto:nanyo@jcom.home.ne.jp)

FAX : 03-3334-1745

URL : <http://yokufuukai.or.jp/top.htm>

今回の発表の施設  
またはサービスの  
概要

(福)浴風会は大正14年に関東大震災の被災高齢者の援護を目的として設立された高齢者保健・医療・福祉の総合施設です。南陽園は昭和46年に開設された特別養護老人ホームで、利用者254名職員割合は2.4:1平均介護度は4.05です。

## 〈取り組んだ課題〉

・介護保険施設では、より良い高いケアが求められている。その中で、利用者の生活の場として、一人ひとりにあった介護を目指して考え実行してきた。

## 〈具体的な取り組み〉

以下の4点に特に重点を置いて取り組んだ。

- ・ 1 褥瘡撲滅！
- ・ 2 廃用症候群予防！
- ・ 3 嚥下困難者への、より良い食事提供！
- ・ 4 統一したケア（情報共有・意見交換）への努力！

## 〈活動の成果と評価〉

- 1 褥瘡撲滅→写真付の詳しい解説を作り、27人分・クッション総数110個使用しての、個別のポジショニングの徹底。糖尿病・低体力の方の、褥瘡回復に対応したベッドの開発。
- 2 廃用症候群予防→他職種と連携し、クッションを使用しての早期離床やメリハリのある生活の提供
- 3 嚥下困難者への、より良い食事提供→口腔内視鏡検査による、介助方法の変更・医学的ナリスクの検証。訪問歯科医師による、個別の口腔ケア方法・ケア用品の検討。
- 4 統一したケア（情報共有・意見交換）への努力→意見を書きあう『なんでもノート』の活用。細かな介助方法の変更や連絡事項を、PCに連動させ、すぐに呼び出すことが出来、細かなケアまで記録に残るようにした。

## 〈今後の課題〉

- 利用者がその人らしい生活を送れるよう、新たなケア等に取り組んで行ける現体制を維持する。
- チーム内の不満や葛藤を、その都度対話で解決していく。
- 他職種との連携強化による余暇活動の充実・増える認知症高齢者への対応・加齢による体力低下への対応。
- 個別ケアは無制限。利用者と職員が、お互いに納得と満足感得られる環境作りを目指す！

【メモ欄】